

新たな指定製品の目標値及び目標年度の設定等について（案）

令和 7 年 3 月 25 日
 経 済 産 業 省
 産業保安・安全グループ
 化学物質管理課
 オゾン層保護等推進室

1. 指定製品制度の運用状況

- 指定製品制度の運用については、「改正フロン法における指定製品の対象と指定製品製造業者等の判断の基準について（中間とりまとめ）」（平成 26 年 8 月 29 日）及び「今後の指定製品制度の運用等について」（平成 26 年 12 月 19 日）にて整理。
- 上記「中間とりまとめ」において、目標値・目標年度が設定されなかった製品についても、その後の代替技術の確立・製品供給等の状況を踏まえ、順次設定を進めてきている。
- 現在、指定製品の目標値・目標年度は、以下表にある 23 区分について設定済み。

指定製品制度の目標値及び目標年度

指定製品の区分（概要）	現在使用されている 主な冷媒及び GWP	GWP の 目標値	目標年度
家庭用エアコン	R410A (2090) R32 (675)	750	2018
業務用エアコン			
店舗・事務所用エアコン	R410A (2090) R32 (675)	750	2025
中央方式エアコン	遠心式の圧縮機 R134a (1430) R245fa (1030)	100	2025
	上記以外 R410A (2090)	750	2029
ビル用マルチエアコン（既設利用を除く）	R410A (2090)	750	2027
設備用エアコン（既設利用を除く）	R410A (2090)	750	2029
ガスエンジンヒートポンプエアコン（既設利用を除く）	R410A (2090)	750	2029

自動車用エアコン				
乗用自動車	R134a (1430)	150	2023	
トラック及びバス	R134a (1430)	150	2029	
コンデンシングユニット及び定置式冷凍冷蔵ユニット				
1.5kW を超えるものであって別置型	R404A (3920) R410A (2090)	750	2029	
上記以外	R407C (1770) C02 (1)	150	2029	
業務用一体型冷凍冷蔵機器				
業務用冷凍冷蔵庫	R134a (1430) R404A (3920)	150	2029	
ショーケース（圧縮機の定格出力 750W 以下）	R410A (2090) R407C (1770) C02 (1)	150	2029	
中央方式冷凍冷蔵機器				
有効容積が 5 万 m ³ 以上の冷凍冷蔵倉庫（新設、改築、増築）※	R404A (3920) アンモニア (1)	100	2019	
遠心式圧縮式冷凍機（※以外）	R134a (1430) R245fa (1030)	100	2029	
スクリー式圧縮機（※以外）	R407C (1770) R448A (1386)	150	2031	
遠心式圧縮式冷凍機・スクリー式以外（※以外）	R410A (2090)	750	2029	
硬質ポリウレタンフォームを用いた冷蔵機器及び冷凍機器		100	2024	
硬質ポリウレタンフォームを用いた冷蔵又は冷凍の機能を有する自動販売機	HFC-245fa (1030) HFC-365mfc (795)	100	2024	
住宅用硬質ポリウレタンフォーム用原液		100	2020	
非住宅用硬質ポリウレタンフォーム用原液		100	2024	
硬質ポリウレタンフォームを用いた断熱材		100	2024	
専ら噴射剤のみを充填した噴霧器	HFC-134a (1430) HFC-152a (124) C02 (1) DME (1)	10	2019	

2. 今後の指定製品化に向けて検討すべき分野

(1) 業務用一体型冷凍冷蔵機器（大型ショーケース（圧縮機の定格出力 750W を超えるもの））

- 第 17 回フロン WG において、「業務用一体型ショーケース（圧縮機の定格出力 750W 以下のものに限る）」（以下「小型ショーケース」という。）については、目標値（150）・目標年度（2029）を設定した。一方、「大型ショーケース（圧縮機の定格出力 750W を超えるもの）」（以下「大型ショーケース」という。）については、圧縮機等の技術開発を引き続き進め、早期の目標値、目標年度の決定に向けて検討を進めてはどうかとされた。
- 今般、日冷工における検討において、小型ショーケース及び一体型コンデンシングユニットに今後導入される低 GWP 冷媒への転換技術を流用できる見通しが得られたことから、小型ショーケース及び一体型コンデンシングユニットが商品化された段階で指定製品化に向けた検討を行ってはどうか。